

発行 車体発 16 第 206 号

2017年3月17日

## 2017年度（平成29年度）トレーラ国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2017年度のトレーラ国内需要見通しをまとめたので発表します。

### 1. 2016年度のトレーラ需要見込み

2016年度のトレーラ需要は7,600台・前年比105.6%になるものと見込まれる。

堅調な日本経済の成長に加え、2015年に改正された法改正に対応するトレーラへの補助金、並びにECE-R13(ブレーキ関係)未対応車の駆込み登録等によりバン、コンテナ用は大きく台数が伸び、バンは前年比112.7%、コンテナ用は同108.4%と台数を押し上げた。又、その他のトレーラは前年並であった。

### 2. 2017年度のトレーラ需要見通し

2017年度の日本経済は緩やかな回復基調で推移すると共に、所得環境の改善が続くと見込まれる。又、為替も2016年並で推移すると見込まれていることから、2016年度並の成長が期待される。

トレーラは景気回復に支えられた代替需要、並びにドライバー不足等によるトレーラへの移行等により、引き続き高水準の需要が予想される。

こうしたことから、トレーラ総需要は8,100台、2016年度比106.6%と見込まれる。

#### ・2017年度トレーラ国内需要見通し

(単位:台)

年 度	2015年度	2016年度	2017年度	対前年比	
	(A)実績	(B)見通し	(C)予測	2016年度 (B/A)	2017年度 (C/B)
合 計	7,197	7,600	8,100	105.6%	106.6%
形 状	コンテナ用	1,937	2,100	2,200	108.4%
	バン	2,130	2,400	2,800	112.7%
	平床・低床	1,931	1,800	1,800	93.2%
	その他特装系	1,199	1,300	1,300	108.4%

(注) 日本自動車車体工業会でいうトレーラとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラ、ボートトレーラなどは除く